

令和5年度

事 業 報 告 書

社 会 福 祉 法 人 秋 葉 会

目 次

I	法人事業総括	1
II	事業成果の内容	1
III	法人設置経営者	2
IV	法人事業の沿革	2
V	法人施設ならびに事業所の概要	4
VI	理事会および評議員会	5
	1. 理事・評議員・監事	
	(1) 理事	
	(2) 評議員	
	(3) 監事	
	2. 理事会	
	3. 評議員会	
	4. 監査実施状況	
VII.	法人事業報告	7
	1. 実地指導等報告	
	2. 職員の状況	
	(1) 八戸地域福祉事業部門	
	(2) 上北地域福祉事業部門	
VIII.	事業所報告	9
	1. 八戸地域福祉事業部門	
	(1) 障がい者支援施設 八太郎山療護園	
	(2) 児童デイサービスセンター希望ヶ丘	
	(3) 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家そうだん室	
	(4) 八太郎山の家 ヘルパーステーション	
	(5) 八太郎山の家 訪問看護ステーション	
	(6) 身体障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家	
	(7) グループホーム桔梗野の家	
	(8) 障がい者デイサービス 根城の家	
	(9) 障がい者デイサービス リアンジュ	
	(10) 多機能型通所支援事業所 リアンジュ	
	2. 上北地域福祉事業部門	
	(1) 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ	
	(2) デイサービスセンターサンポエム	
	(3) 彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所	
	(4) 彩香園アルテリーベ 訪問看護ステーション	
	(5) グループホーム 青い空	
	(6) 彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション	

(7) コレクティブハウス 彩香園アルテリーベ

IX. 活動報告	26
1. 行動（行事）報告	
(1) 八戸地域福祉事業部門	
(2) 上北地域福祉事業部門	
2. 設備修繕報告	
(1) 八戸地域福祉事業部門	
(2) 上北地域福祉事業部門	
3. 研修報告	
(1) 八戸地域福祉事業部門	
(2) 上北地域福祉事業部門	
X. その他の取組み報告	37
1. 苦情報告	
(1) 八戸地域福祉事業部門	
(2) 上北地域福祉事業部門	
2. 地域貢献・地域交流	
XI. 健康管理報告	38
1. 職員福利厚生	
(1) 健康診断	
(2) 予防接種	

I 法人事業総括

令和5年度は政治経済あらゆる面での変化の年となった。まずは、新型コロナウイルスの感染症の分類が2類相当から5類になったことである。法的な行動制限等がなくなり、イベントなどが開催できることとなった。法人内においては、園内行事の開催、祭り見学やドライブなど少しずつ利用者に喜んでいただけることが出来るようになった。

物価高騰の影響は非常に大きい。給食材料・介護用品は前年に比べると20%から30%の上昇率となっている。法人はもとより法人で働く職員にも大きな影響を与えている。法人として職員へ支援できる方法はないか検討していきたい。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響により、被災地域の福祉施設で人材不足、職員の疲労等が問題となっている。当法人においても、対策をしておかなくてはならない大きな課題であると認識させられた。

当法人は基本理念「主観的幸福感の追求」に基づき、利用者主体の「普遍化」と「個別化」を基本としたサービスの提供に努め、社会福祉法人としての使命、地域の社会福祉施策の一翼を担う存在としてその役割を遵守した。今後もその方針は継続しつつ、一方で新たな収益源、人材確保の手段を模索し、経営基盤の一層の強化を図りたい。

新年度は介護保険法並びに障害者総合支援法の定時改正が行われる。法改正等へ迅速に対応するとともに、さらなるサービスの質の向上、地域への貢献を目指し、社会的貢献性のある現存事業の拡大や地域に必要とされる新たな事業展開を視野に入れながら、法人全職員が一致団結して、よりいっそう職務に精進していく所存である。

II 事業成果の内容

1. 法人の基本理念と基本方針の再確認について

職員に対しては施設内研修、新規学卒並びに中途採用者に対してはオリエンテーションを通じて周知に努めた。今後も機会ある毎に折にふれ、継続した周知徹底を図りたい。

2. 法人職員の明るい環境作りについて

老人福祉事業並びに障害福祉事業のいずれにおいても、それぞれの現場における問題提起とその改善策についての話し合いの機会を設け、その結果が現場に反映されるよう努めた。また、福利厚生の一環として法人職員親睦会にて企画した職員旅行の実施と職員の心身のリフレッシュの機会となるよう連続有給休暇の取得促進を図った。

3. 介護保険制度並びに障害者総合支援法の調査研究について

毎月、法人内施設・事業所の所長クラス並びにレセプト担当職員にて構成する「運営会議」を開催し、それぞれの施設及び事業所の毎月の利用状況についての報告の機会を設け、介護保険並びに障害者総合支援法の法改正を見込んでの具体的な経営運営上のシミュレーションを行い、経営上の課題分析や事業運営についての検討を図った。

4. サービスの質の向上・充実について

提供サービスの質の向上を目的とし、事例研究に取り組んだ。自主性を重んじ希望者を募り、障害福祉事業部門においては発表会を行った。また法人内施設・事業所・部署毎に毎月、施設内研修を実施し、老施協並びに身障協等で主催する施設外研修についても可能な限りの参加を推進した。特養、デイサービス、グループホームおよび障がい者支援施設のいずれについても介護相談員又はオンブズマン（第三者委員）の毎月の受け入れ、さらに青い空、桔梗野の家のグループホームについては、県老施協の外部評価、そして全施設・事業所において、介護サービス情報の公表制度の受け入れ・実施を図り、ケアサービスの向上に向けての職員の動機付けを行い、業務改善並びに新しい取り組みについて実施、充実に努めた。

5. 地域福祉交流の促進について

老人福祉事業部門、障害福祉事業部門のいずれも保育園児を対象とした行事の余興依頼、小中高生並びに近隣住民を含む一般ボランティアの積極的な受け入れと地域行事に対して職員のボランティア派遣、施設建物の無料開放等、例年同様に福祉施設の理解の拡充に努めた。今後も法人各施設並びに事業所について地域コミュニティのさらなる発展に貢献できるよう地域住民とのより一層の積極的な交流を図りたい。

Ⅲ 法人設置経営者

社会福祉法人 秋葉会 理事長 高橋 奈々子

法人本部 青森県八戸市大字河原木字八太郎山3番138

Ⅳ 法人事業の沿革

平成04年03月30日	社会福祉法人秋葉会設立認可
平成05年04月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ開設（50名）
04月01日	〃 ショートステイ開設（04名）
平成05年07月01日	デイサービスセンターサンポエム開設（B型）
平成12年02月01日	彩香園アルテリーベ訪問看護ステーション開設
04月01日	彩香園アルテリーベ居宅介護支援事業開設
06月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員30名）
10月23日	グループホーム青い空開設（09名）
平成14年04月01日	彩香園アルテリーベ在宅介護支援センター開設（旧上北町委託）
04月01日	デイサービスセンター桔梗野の家開設（1日の利用定員20名）
04月01日	グループホーム桔梗野の家開設（09名）
04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家開設

06月01日	デイサービスセンターサンポエム定員増（1日の利用定員35名）
平成15年05月01日	〃（1日の利用定員40名）
10月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園開設（40名）
10月01日	〃 ショートステイ開設（04名）
10月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘開設（1日の利用定員10名）
平成16年07月01日	身体障害者療護施設八太郎山療護園ショートステイ定員増（06名）
平成17年05月10日	八太郎山居宅支援センター開設 （障害者ショートステイ8名、障害者デイサービス1日の利用定員15名、障害者向け住宅30部屋、居宅介護・訪問介護事業）
05月10日	八太郎山居宅支援センター訪問看護ステーション
平成17年06月01日	八太郎山居宅支援センター ショートステイ定員増（16名）
06月16日	居宅介護支援事業所桔梗野の家、八太郎山居宅支援センター内へ事務所移転
平成18年04月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ ショートステイ定員増（14名）
04月24日	デイサービスセンターサンポエム移転（本体建物増築）
10月01日	彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション開設
10月01日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ1号館開設（20部屋）
平成19年04月01日	居宅介護支援事業所桔梗野の家 グループホーム桔梗野の家内に事業所移転
平成20年03月09日	身体障害者向け住宅 コレクティブハウス彩香園アルテリーベ2号館開設（4部屋）
平成23年10月01日	八太郎山療護園 障がい者支援施設（生活介護・施設入所支援）へ移行
平成24年04月01日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 放課後等デイサービスへ移行
平成24年07月01日	特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ増床（52名）
平成25年09月01日	グループホーム青い空増床（18床）
平成26年06月01日	八太郎山療護園 特定・障害児相談支援事業
平成27年08月01日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘開設（10名）
平成28年12月15日	障がい者デイサービス根城の家開設（20名）
平成30年05月01日	名称変更 八太郎山居宅支援センター ⇒ 八太郎山の家（住宅・有料老人ホーム） 〃（ヘルパー） ⇒ 八太郎山の家 ヘルパーステーション 〃 訪問看護ステーション ⇒ 八太郎山の家 訪問看護ステーション 移転および名称変更 居宅介護支援事業所 桔梗野の家 八戸市市川町字桔梗野15-7 相談支援事業所 八太郎山療護園 八戸市河原木字八太郎山3-138 ⇒ 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家 そうだん室

	八戸市河原木字八太郎山 3-140
令和 01 年 05 月 01 日	八太郎山療護園日中一時支援事業開設（委託：八戸市、他）
令和 02 年 06 月 01 日	八太郎山療護園生活介護定員増（50 名）
令和 03 年 01 月 01 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業開設
令和 04 年 01 年 31 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘休止
令和 04 年 02 月 01 日	障がい者デイサービス リアンジュ開設（20 名） 多機能型通所支援事業所リアンジュ開設（10 名） 八太郎山療護園生活介護定員増（60 名）
令和 04 年 06 月 30 日	児童デイサービスセンター希望ヶ丘 児童発達支援事業廃止
令和 04 年 09 月 30 日	児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘廃止
令和 05 年 04 月 30 日	デイサービスセンター桔梗野の家休止

V 法人施設並びに事業所の概要

名 称	敷地面積	建物面積
特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ	18,637.51 m ²	※3,162.72 m ²
デイサービスセンターサンポエム		
グループホーム青い空		596.64 m ²
コレクティブハウス彩香園アルテリーベ		802.42 m ²
デイサービスセンター桔梗野の家	1,346.00 m ²	243.46 m ²
グループホーム桔梗野の家		283.21 m ²
八太郎山療護園	19,076.09 m ²	※2,320.13 m ²
児童デイサービスセンター希望ヶ丘		259.00 m ²
八太郎山の家		※1,945.28 m ²
八照庵（八太郎山療護園生活動作訓練棟）		183.00 m ²
児童デイサービスセンター第二希望ヶ丘	265.42 m ²	123.65 m ²
障がい者デイサービス根城の家	453.81 m ²	833.98 m ²
障がい者デイサービス リアンジュ	1,559.00 m ²	585.87 m ²
多機能型通所支援事業所リアンジュ		

※はいずれも機械室を含んだ面積

VI 理事会および評議員会

1. 理事・評議員・監事

(1) 理事

理事長 高橋奈々子

理事 工藤雅之 石和英夫 高橋史章

高橋清 安村秀一

(2) 評議員

駒ヶ嶺祥子 蛭名政勝 中野渡むつ子 壬生寿子

畑中義信 上館唱二 工藤文雄

(3) 監事

名久井信平 島守雅之

2. 理事会

(1) 第1回理事会 令和5年6月9日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案 令和4年度決算(案)について

第2号議案 令和4年度事業報告書(案)について

第3号議案 令和5年度第1次補正予算(案)について

第4号議案 法人諸規定の一部改正(案)について

第5号議案 物品購入等について

第6号議案 理事・監事の選任について

第7号議案 評議員選任解任委員の選任について

第8号議案 令和4年度下半期理事長等業務執行状況報告について

第9号議案 提示評議員会開催について

(2) 第2回理事会 令和5年6月24日 八戸グランドホテル

第1号議案 理事長の選定について

(3) 第3回理事会 令和5年10月17日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベの定員変更等について

第2号議案 令和5年度第2次補正予算(案)について

第3号議案 物品購入について

第4号議案 令和5年度上半期理事長業務執行状況報告について

第5号議案 評議員会の開催について

(4) 第4回理事会 令和6年3月9日 秋葉会本部他オンライン

第1号議案 令和6年度事業計画書(案)について

第2号議案 令和6年度当初予算(案)について

第3号議案 令和6年度役員報酬(案)について

第4号議案 定員変更について

第5号議案 定款変更について

- 第 6 号議案 廃止届について
- 第 7 号議案 理事の選任について
- 第 8 号議案 令和 5 年度第 3 次補正予算（案）について
- 第 9 号議案 法人諸規定の一部改正（案）について
- 第 10 号議案 常務理事の選任について
- 第 11 号議案 総合施設長の選任について
- 第 12 号議案 評議員会の開催について

3. 評議員会

- (1) 第 1 回評議員会 令和 5 年 6 月 24 日 八戸グランドホテル
 - 第 1 号議案 令和 4 年度決算（案）について
 - 第 2 号議案 令和 4 年度事業報告書（案）について
 - 第 3 号議案 令和 5 年度第 1 次補正予算（案）について
 - 第 4 号議案 法人諸規定の一部改正（案）について
 - 第 5 号議案 物品購入等について
 - 第 6 号議案 理事・監事の選任について
 - 第 7 号議案 評議員選任解任委員の選任について
- (2) 第 2 回評議員会 令和 5 年 10 月 28 日 秋葉会本部他オンライン
 - 第 1 号議案 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベの定員変更等について
 - 第 2 号議案 令和 5 年度第 2 次補正予算（案）について
 - 第 3 号議案 物品購入について
 - 第 4 号議案 令和 5 年度上半期理事長業務執行状況報告について
- (3) 第 3 回評議員会 令和 6 年 3 月 23 日 秋葉会本部他オンライン
 - 第 1 号議案 令和 6 年度事業計画書（案）について
 - 第 2 号議案 令和 6 年度当初予算（案）について
 - 第 3 号議案 令和 6 年度役員報酬（案）について
 - 第 4 号議案 定員変更について
 - 第 5 号議案 定款変更について
 - 第 6 号議案 廃止届について
 - 第 7 号議案 理事の選任について

4. 監査

- (1) 監査 令和 5 年 5 月 27 日
事業報告等の監査、計算関係書類及び財産目録の監査

VII. 法人事業報告

1. 実地指導等報告

法人本部指導監査 令和6年1月12日 指摘事項3件

住宅型有料老人ホームコレクティブハウス彩香園アルテリーベ

実地指導 令和5年12月22日 指摘事項0件

2. 職員の状況

(1) 八戸地域福祉事業部門（令和6年3月31日）

職種	年齢別人数（人）			合計
	10代～20代	30代～40代	50代以上	
施設長等	0	0	2	2
サービス管理責任者	0	2	1	3
児童発達支援管理責任者	0	2	0	2
介護職員	8	25	12	45
介護支援専門員	0	3	0	3
看護職員	1	3	8	12
理学療法士・作業療法士	3	4	0	7
管理栄養士・栄養士	0	1	0	1
生活相談員	0	1	0	1
保育士	0	4	0	4
指導員	1	0	2	3
調理員	0	2	3	5
事務員	2	1	2	5
非正規雇用者	6	20	12	38
			全職員	131

(2) 上北地域福祉事業部門（令和6年3月31日）

職種	年齢別人数（人）			合計
	10代～20代	30代～40代	50代以上	
管理者	0	0	1	1
介護職員	2	2	3	7
介護福祉士	3	26	13	42
介護支援専門員	0	2	3	5
社会福祉士	0	2	0	2
看護師・保育士	1	3	5	8
機能訓練指導員	0	2	1	3

管理栄養士・栄養士	1	0	1	2
調理員	3	4	3	10
事務員	0	2	1	3
その他職員	0	0	3	3
非正規職員	0	4	14	18
			全職員	104

VIII. 事業所報告

1. 八戸地域福祉事業部門

(1) 障がい者支援施設 八太郎山療護園

ア. 総評

(ア) 生活介護・施設入所支援

㊦生活相談 主任サービス管理責任者 松本智和

生活介護サービス利用に関して、今年度は法人内事業所間での連携が取れていた。根城の家利用者の医療的ケア重度化に伴い、スペース的な問題を解決すべく療護園での受け入れや、他相談支援事業所からの相談と利用者ニーズにより、根城の家もしくはリアンジュでの受け入れと繋がるケースも見られた。八戸第一養護学校の実習とグッジョブに関しては、3名ずつ計6名の受け入れを行った。今年度卒業予定であった希望ヶ丘利用者を4月から受け入れる予定であったが、体調の急変により白紙となった事が残念であった。今後も各事業所間で連携を図り、利用者のニーズに応じていけるように心掛けていく。施設入所に関しては、利用者の重度化や高齢化に伴い、入院や受診が多くみられた。日々の状態観察を行う中で支援方法の検討や対応の見直し、職種間との連携等を実施することで、今後もより良いサービス提供に繋げていく。

㊧生活支援 主任生活支援員 田端麻理子

利用者様の尊厳に対する取り組みとして「虐待の芽チェックシート」を定期的に行ってきた結果、支援員の意識向上と利用者様からの苦情の減少に繋がった。事故に関しては職員の過失による大きな事故はなかったものの、内出血や引っ掻き傷など、職員の不注意が相変わらず目立った。また、変化する身体状況に合った介助を事故が起こる前にヒヤリハットとして検討する事が必要だった。新型コロナウイルス感染症の5類移行後は、標準的な感染対策を継続しつつ余暇活動を再開したことで、利用者様の生活に活気が戻ってきている。今後はいかに少ない人員で利用者様の生活の質を下げずに安心したサービスを提供出来るかが課題である。

㊨看護 主任看護職員 田名部るり子

今年度は職員のコロナ・インフルエンザの感染は多少見られたものの、利用者には罹患することもなく良かったと考える。また、風邪症状での内服薬処方があったが、比較的落ち着いていたと考えられる。

しかし、加齢による筋力低下や、集中力低下による車椅子からの転落や、転倒による骨折・打撲などでの整形外科受診が増えているため、大きな事故につながらないように注意していく必要がある。定期受診や定期健診を通して各々の医療機関・主治医と連携し、異常の早期発見・治療ができるようにしていきたい。

㊩機能訓練 副主任理学療法士 下館麻未

今年度は、新入職員も加わり、新体制で業務にあたった。事業所間での連携、定期的なチーム内勉強会の取り組みを通し、利用者本位のサービス提供に努め

た。今後は、多職種連携の強化を図り、利用者の生活に寄り添ったサービス提供に繋げていきたい。

㊦給食 管理栄養士 金濱道子

利用者様の高リスク者の内訳は、血清アルブミン値が 3.0g/dl以下（7名）と体重変化率が 10%以上（3名）であった。

R5.6.16 の健康診断の結果、喫食者全体の内 71%でアルブミン値が増加した。

R5.3 からあおもりコープフーズの協力の下、蛋白質の提供量を基本 70g/日になる様に献立作成をした。食材で増やすことが不可能な時は、補助食品としてプロテインパウダーを汁に添加して対応した結果、概ね有効であったと考えられる。

R5.12.19 の健康診断の結果、喫食者全体の内 64%でアルブミン値が減少した。提供量は変わっていないので、アルブミン値が減少した喫食者 16名の内 6名（38%）は副食の摂取量が減少していたため、十分に蛋白質を摂取出来なかったと考えられる。

残食量は前年度比で朝食（12%増加）、昼食（16%増加）、夕食（11%増加）といずれも増加傾向であった。あおもりコープフーズの献立上、栄養素に関して微量栄養素が不足しがちなので、その日の献立によって不足する栄養素を補うように補助食品を献立に組み込んでいる。また、食事形態によっても不足する栄養素が違っているので、それぞれ充足できるような補助食品を選択した。全般的には蛋白質・カルシウム・鉄・食物繊維・ビタミン B1・ビタミン B2・ビタミン C が不足することが多かった。低栄養の場合、アルブミンの他にヘモグロビンや HDL コレステロールの低下もみられるようになるので、蛋白質の他に鉄や鉄の吸収を高める VC も過不足ない様に補助食品で調整をしている。

㊧給食 主任調理員 村山宗久

今年度前半はリクエストメニューを頻繁に組み込むことができ、利用者様に喜んでいただけたと感じる。後半は調理員の長期間の休業などが続き、決められた行事食以外対応が出来なかった。今年度から職員 1人が定年によりパートタイムに変わるため、人的余裕が若干減る。根城の家、リアンジュのヘルプもあるためシフトを調整しながら、可能な限りリクエストメニューを組み込んでいきたい。

残食量が大分増えた 1年間であった。原因としては、材料費高騰のため同じような食材の繰り返しが多いメニュー構成だったのが、利用者様の飽きを誘ったのではないかと考える。そういったことも含め青森コープフーズと話し合っていきたい。

栄養素に関しては基準値を下回ることはないが、残食が多い方や大半をこぼしてしまう方などは低栄養になりやすいため、その改善について他部署の方々と相談しながら対応していきたい。

(イ) 短期入所 主任サービス管理責任者 松本智和

施設入所者の高齢化や重度化により短期入所の受け入れに関しては、慎重に行

なわなければいけない状況が続いている。その中でも前年度稼働率 31.8%から、今年度は 33.2%と増加している。新規契約に関しては 3 件であった。根城の家庭生活介護利用者やリアンジュ生活介護利用者の短期入所では、各事業所の送迎利用によりご家族の負担の軽減にも繋がっており、とても喜ばれている。今後も各事業所間で連携を図りながら、より良いサービス提供が行えるように心掛けていく。

イ. 利用者状況

(ア) 施設入所支援（令和 6 年 3 月 31 日現在）

- ・在宅生活介護契約者：14 名
- ・施設入所・生活介護契約者：40 名

単位：人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
在宅	168	165	151	131	163	164	
施設	880	920	859	898	906	875	
延べ人数	1,048	1,085	1,010	1,029	1,069	1,039	
1 日平均	47.6	47.2	45.9	44.7	46.5	47.2	
稼働率	79.4%	78.6%	76.5%	74.6%	77.5%	78.1%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
在宅	167	158	123	164	163	153	
施設	895	852	865	895	832	917	年間平均
延べ人数	1,062	1,010	988	1,059	995	1,070	1,038.7
1 日平均	46.2	45.9	43.0	46.0	47.4	46.5	46.2
稼働率	77.0%	76.5%	71.6%	76.5%	79.0%	77.5%	76.9%

(イ) 短期入所（令和 6 年 3 月 31 日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	57	73	73	77	65	59	
1 日平均	2.0	2.3	2.4	2.5	2.1	2.0	
稼働率	31.6%	39.2%	40.5%	41.3%	34.9%	32.7%	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	66	66	47	44	47	56	60.8
1 日平均	2.1	2.2	1.5	1.4	1.6	1.8	2.0
稼働率	35.4%	36.6%	25.2%	23.6%	27.0%	30.1%	33.2%

(ウ) リハビリテーション実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
施設入所	432	434	400	389	387	390	
外部生活介護	119	116	116	92	107	112	
口腔嚥下	17	22	18	19	21	20	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均

施設入所	411	365	380	392	357	379	393.0
外部生活介護	125	106	73	106	96	104	106.0
口腔嚥下	21	8	0	14	8	1	14.1

(2) 児童デイサービスセンター希望ヶ丘

ア. 総評

(ア) 放課後等デイサービス 児童発達支援管理責任者 橋本浩幸

今年度は2名が新規利用となったが、昨年度と比較し延べ333人下回った。要因としては、怪我や家庭都合による2~3ヶ月の短期入所3名、市外児童の祝日や長期休業中の利用減少が主に挙げられる。新規利用相談に柔軟に対応しながら利用に繋げられるよう努めていく。

本人主体の活動や日常生活を送ることが出来るよう、手すりを増やしたり位置の調整、トイレの自立を促したり、ペーパーホルダーの位置を変える等環境設定を工夫しながら、自分で出来たという自信や自己肯定感の向上に繋げられるよう職員間で話し合いながら取り組んだ1年であった。

自立課題では、一人ひとりに合わせた新しい課題を定期的に提案、作成し提供した。集団活動では、リトミックで体と脳を使った音楽表現を楽しみ、段ボールで大きな装置を作りゲームを楽しむなど工夫を凝らした活動を取り入れ、児童の楽しみのひとつとなった。

また、保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、日ごろの悩み相談や成長の喜びを一緒に分かち合うことが出来た。今後ご家族の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守りたい。

(イ) 日中一時支援 児童発達支援管理責任者 橋本浩幸

毎月ではないが、ご家族の都合により2名が利用している。今後ご家族のニーズに合わせて支援していく。

イ. 利用者状況

(ア) 放課後等デイサービス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	138	130	160	162	144	151	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	163	174	163	147	157	160	154.1

(イ) 日中一時支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	1	3	3	1	0	0	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	1	0	0	0	1	1	0.9

(3) 居宅介護支援・相談支援事業所 八太郎山の家そうだん室

ア. 総評 主任介護支援専門員、相談支援専門員 中島貴光

介護保険は、新規から死去、長期入院、グループホーム入居などによる終了を差し引き、僅かに減少傾向となっていたが、最終的に新規利用者が相次ぎ 53 名から 56 名へと回復。障害福祉の方では死去や満 65 歳となり介護保険へ移行した事などによる障害福祉サービスの終了があったが、新規利用もありほぼ変動はなし。今後も介護保険と計画相談を両立して、より良いケアマネジメントを提供できるように努めたい。

イ. 利用者状況

【介護保険】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
要支援事業対象	8	8	8	8	8	8	
要介護 1	7	6	7	8	8	8	
要介護 2	16	17	16	17	17	16	
要介護 3	14	13	13	12	12	11	
要介護 4	4	5	5	6	6	5	
要介護 5	6	6	5	5	5	5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
要支援事業対象	8	8	8	8	8	8	8.0
要介護 1	8	9	9	10	10	11	8.4
要介護 2	15	16	16	16	16	15	16.1
要介護 3	14	12	12	12	11	11	12.3
要介護 4	5	5	5	4	4	4	4.8
要介護 5	5	5	6	6	7	7	5.7

【相談支援】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
障害者	14	14	17	13	9	13	
障害児	2	0	0	1	0	2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
障害者	13	10	13	11	14	9	12.5
障害児	0	0	0	0	1	0	0.5

(4) 八太郎山の家 ヘルパーステーション

ア. 総評 管理者 西村貴志

今年度の新規利用者は、介護保険 3 名、障害、介護保険併用 1 名であった。昨年度に引き続き新型コロナウイルス等の感染症の影響により、デイサービスの利用制限や職員の出勤状況への影響が多くみられていたが、事業所内での感染拡大はみられなかった。職員の不足が昨年度より継続しており、訪問のカット

には至っていないものの残業等による職員の疲労が徐々にみえてきている為、心身共に注意深く観察、フォロー行っていきたい。

来年度も引き続き利用者一人一人が自分らしく暮らしていけるようサポートを行っていくと共に、引き続き基本的感染対策を徹底し感染症の発生、蔓延防止に努めていきたい。また、人事異動により次年度からは新たな体制で業務を行っていくことになるので、事故、サービスの質の低下防止に努めると共に、離職予防への取り組みとして職員の抱える問題の把握、働きやすい環境の整備に取り組んでいきたい。

イ. 利用者状況

【居宅介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	18	18	19	19	19	19	
延訪問件数（件）	859	878	925	867	911	855	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	19	19	19	18	17	17	18.4
延訪問件数（件）	919	881	927	855	790	843	875.8

【訪問介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	30	29	29	29	29	27	
延訪問件数（件）	1,024	990	978	1,062	1,019	911	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	27	27	28	29	30	30	28.7
延訪問件数（件）	924	869	954	1,069	1,020	1,097	993.1

(5) 八太郎山の家 訪問看護ステーション

ア. 総評 主任看護職員 大野美華子

今年度は有料老人ホームの入退居に伴い、訪問看護サービス終了者4名、新規契約者6名であった。終了者は看取り・難病悪化による長期入院・ご家族様の希望による在宅復帰をしたものであった。また、新規契約者のうち3名は医療依存度が高く、そのうち1名は疾患により在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法を受けている。さらに指定難病への対応が必要となり、新たに指定医療機関の指定を受けた。在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法への対応は、訪問看護ステーション設立後、初めてのことだが、内部研修を行うことで基礎知識や対応方法を身に付けることができ、問題なく対応することができている。また、今年度は新型コロナウイルス感染症が5類になったことにより、新型コロナウイルス感染症に加え、インフルエンザの感染拡大が懸念された。利用者・職員ともに数名の感染者が発生したが、感染予防対策の早期開始により、感染拡大を防ぐことができた。来年度も同様、介護職員等と協力・連携しながら、サービスの質

の向上と感染予防対策に取り組んでいく。

イ. 利用者状況

【医療】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	18	17	17	17	17	17	
延訪問件数（件）	265	268	262	253	268	243	
平均訪問件数（件／人）	14.7	15.8	15.4	14.9	15.8	14.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	17	18	18	17	17	17	17.3
延訪問件数（件）	252	259	303	325	298	316	276.0
平均訪問件数（件／人）	14.8	14.4	16.8	19.1	17.5	18.6	16.0

【介護】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者数（人）	26	25	24	25	25	22	
延訪問件数（件）	273	273	253	276	274	232	
平均訪問件数（件／人）	10.5	10.9	10.5	11.0	11.0	10.5	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
利用者数（人）	22	24	24	25	25	25	24.3
延訪問件数（件）	240	253	241	286	265	277	261.9
平均訪問件数（件／人）	10.9	10.5	10.0	11.4	10.6	11.1	10.8

(6) 身体障害者向け住宅・有料老人ホーム 八太郎山の家

ア. 総評 管理者 西村貴志

今年度の入退居状況については、退居者4名入居者4名であった。長引く職員の不足により8月以降空室が続いていたが12月に新規利用者2名を迎える事ができ現在満床となっている。

昨年に引き続き職員・利用者の新型コロナウイルスやインフルエンザへの感染が度々みられたが、事業所で感染は確認されておらず、部会を中心として行っている感染対策が一定の効果を上げたと考えている。行事においては新型コロナウイルス感染症が5類になったこともあり、徐々にではあるが外出を伴う行事を行うことができ利用者のストレス軽減に努めることが出来た。来年度も引き続き感染予防を徹底し、入居者が少しでも気分転換でき、楽しめるような行事を計画し実施していきたい。

研修においては感染対策により実際に現地に赴いての外部研修への参加の機会は少なくなっているが、オンライン研修を活用することにより昨年度と同様、様々な研修に参加することが出来た。また、内部研修や会議等のオンライン参加を進めることにより、職員の負担軽減を図ることができたと考えている。来年度も研修委員会が中心となり、職員の希望する知識や技術の習得の後押しが

できるよう努めていきたい。

事故については、骨折を伴う重大な事故が発生している。部会を中心に検討を深め今後の予防対策を徹底していきたい。

イ. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入居実人数	45	44	44	44	42	42	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
入居実人数	42	42	44	44	44	44	43.4

(7) グループホーム桔梗野の家

ア. 総評 主任介護員 中村いく子

利用状況の平均は8～9名であった。6月と11月にグループホームでの看取りにて亡くなられた利用者様の影響により、空所が34日間あった。待機入居者は30名おり、毎月空所の問い合わせや申し込みがある状況であった。平均年齢は87歳、平均介護度は2と昨年より下がっていることもあり、活動的になっている。1月には低温火傷の事故があり、八戸市へ事故報告を提出している。看取り2名のうち1名は最高齢の101歳であり、親族は遠方で最期の立会いは叶わなかったが職員で寄り添う事で穏やかな最期を迎える事ができたと思える。もう1名は家族の住まいが近隣の為、面会してもらい家族と職員の見守る中、最期を迎えることができた。職員一人ひとりが考え、寄り添い看取りを行えた。普段の活動として、調理や掃除、洗濯干し・たたみなど利用者と職員が一緒に行い利用者の残存機能の維持・向上を図るよう取り組んだ。行事は人混みを避け、感染予防に努めながら外出する機会を増やした。利用者も外の景色や空気にふれることで気分転換を図ることが出来た。

地域交流ではコロナ前に行っていた「おもてなしカフェ」を再開し、中居青果さんの野菜果物販売会やスマイルさんの音楽イベントなど開催し、地域の方にたくさん足を運んでもらい喜んでいただいた。地域に「おもてなしカフェ」が定着しつつあるため、来年度も引き続き盛り上げていく。今年度は地域の方から介護相談があり、高齢者支援センターへ繋ぐことができた。これからも地域に根付いた施設を目指していきたい。

職員研修では外部・内部研修に参加した。「知識・技術・心」の向上を図っていききたい。

イ. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	270	279	266	279	279	270	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	279	255	268	279	261	279	272.0

(8) 障がい者デイサービス 根城の家

ア. 総評 主任サービス管理責任者 須藤由紀

利用者の生活支援

サービス利用計画の内容に応じて個別支援計画に記載し、内容への反映として
いる。在宅生活を継続していく上で、心身の健康状態を保ち家族の介護負担の
軽減に向けている。ご本人・ご家族様のニーズに対し、相談支援事業所等との
連携により生活全体としての視点で取り組んでいる。今後も利用者様・ご家族
様の声を大切にしていく。

利用者の余暇活動・行事・機能訓練の充実

理学療法士を中心として、日常生活動作にフォーカスをしたりハビリを実施し
ている。計画書に基づいて訓練を行い疼痛緩和にも取り組んでいる。満足度を
高める一つとなっている。余暇活動については、個々に応じた内容の実施とし
ている。感染症対策を行いながら、徐々に外出行事等を実施する事が出来てい
る。

利用者の受け入れ

利用者数は月別利用者数参照。令和5年度は法人内別事業所への入所や移行等、
家庭の介護力や医療的ニーズへの対応による動きがみられている。年々同様の
ニーズが増えている状態である。通所支援事業による在宅利用者の支援に於い
ては、事業所単体ではなく、本部と連携した支援体制の構築が重要となってい
る。様々な状況に前向きな検討を行うことで、ニーズに応じる取り組みを行っ
ていく。

職場環境の整備

人を育てられる人材育成の一つとして、根拠を持って説明が出来ることを目標
として取り組んでいる。日常の介助動作の目的を言葉にする。その事を意識す
る事で、職員相互の理解や介助の不安、利用者様の細かな変化における情報共
有に向けている。職員が自信を持ってサービスを提供できるよう努めていく。
退職者削減の為、面談等の機会を利用して職員の抱えている課題の把握に努め
ている。職員のライフステージ等、個別の内容の対応に柔軟さをもって取り扱
うことで、退職者の少ない環境となっている。

イ. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	297	337	316	306	306	271	
1日平均	12.9	13.5	13.2	12.8	12.2	11.3	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	287	273	291	260	261	261	267.5
1日平均	12.0	11.4	12.1	10.8	11.3	12.2	12.1

(9) 障がい者デイサービス リアージュ

ア. 総評 児童発達支援管理責任者 曾我綾香

利用者の生活支援

送迎時等ご家族様からの自宅等での情報にて、支援計画や対応の内容に活用することが出来ている。体調や家庭等の状況の相談連絡に対し、柔軟に応じることで検討して取り組むことが出来ている。

日中活動の充実

余暇活動・行事に関しては、感染予防を行いつつ実施内容に幅を持たせることが出来ている。外部からの行事の受け入れ等は継続して行っていく。法人内の事業所間交流を行うことで、利用者間での同じ障害の悩みや相談等が行われ、視点の合ったコミュニケーションが図られている。月1回を基本とした定例会は要望があり満足度に繋がっている。

児童と一緒に余暇活動も少しずつ増えており、職員・利用者ともに和やかな時間を過ごすことが出来ている。畑を活用した収穫体験を行い、ともに楽しみを感じる事が出来ている。

利用者数の増加

利用者数については、入所・入院等にてサービスの切り替えがみられるも、新規利用にて若干の増加となる。環境の変化に慣れて頂いた上で、希望の利用回数に移行できるよう取り組んでいく。養護学校・相談支援事業所等と連携を深めていく。

職場環境の整備

退職や異動など人事の変動が大きい年度であったが、その分新採用職員も増えている。新しい環境の中で、職員育成に取り組むことが必須となっている。様々な変化の中でも基本となるべく土台がある事で、サービスの継続が図られている。全体としての体制強化と現場レベルでの質の向上に継続して取り組んでいく。

働きやすさとやりがいを感じられる職場として、職員が互いの長所をリスペクトできるコミュニケーションが取れるよう、環境づくりを継続していく。

面談の機会を活用し、職員が感じている不安の軽減を図っていく。

イ. 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
延べ人数	204	221	224	215	212	194	
1日平均	8.9	8.8	9.3	9.0	8.5	8.1	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
延べ人数	208	207	211	215	188	216	194.4
1日平均	8.7	8.6	8.8	9.0	8.2	9.0	9.0

(10) 多機能型通所支援事業所 リアンジュ

ア. 総評 児童発達支援管理責任者 神山智美

今年度は前年度と比較し、延べ 269 人上回った。体調不良や家庭の都合での利用キャンセル等はあるものの、安定した利用が出来ている。新型コロナウイルス感染症が 5 類になったこともあり、夏季休業は工場見学や様々なイベントに積極的に参加し充実した長期休業となった。今年度 2 名の児童が卒業となるも新規利用児童 3 名獲得、その他、利用曜日の追加希望などもあり 3 月には定員に達する日も多かった。来年度も児童、ご家族のニーズを聞き取りながら安定した平均利用人数の維持に努めていく。療育活動では、児童の気持ちの変化をくみ取りながら、意欲を育てていけるような声掛けや、課題提示を行っており、苦手意識がある課題でも根気強く取り組んでいる。作業療法士による集団訓練では、同じ課題や感覚遊びを行う事で児童の様々な表情や反応が見られている。今後も、感染対策の徹底と療育支援の充実を図り、児童が活動的に過ごせる場であるよう安心、安全に配慮していくと共に、本人・保護者のニーズを把握しつつ、サービス向上に努めていきたい。

イ. 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
延べ人数	204	223	223	229	193	204	
1 日平均	8.4	8.6	8.6	8.8	7.4	7.8	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間平均
延べ人数	214	184	221	191	217	248	231.0
1 日平均	8.2	7.1	8.5	7.8	8.2	9.5	8.2

2. 上北地域福祉事業部門

(1) 特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ

ア. 総評 統括主任 池田哲人

選ばれる施設を目指し、知識や技術の習得による対応力向上と、温かい介護が提供できるよう接遇や業務の見直しを図ることを目標に取り組みました。

業務の見直しは、排泄介助の時間や頻度について、利用者の排泄パターンをアセスメントした上で職員配置が手厚い時間帯に実施できるよう変更しました。夜勤についても、既存の業務や考え方に固執せず、簡単で確実に実施できるように業務の整理や見直しを行いました。新入職員がなかなか定着しない状況が続いていますが、限られた人材で最大限のサービス提供ができるように考え方を変えていくことが重要だと思いました。煩雑化した業務の整理はできましたが、接遇の見直しや向上への積極的な取り組みが十分に実施できませんでした。ベッド稼働率は高水準で推移できました。

(ア) 介護老人福祉施設

⑦相談 生活相談員 高田由紀子

前年度は感染状況等の影響を受け、利用控えとみられる状況もあったが、令和5年度はその状況から脱した印象があり、特養、短期入所共に実績の目標を達成することが出来た。特に特養の空床を利用したのショート利用は年間で4件対応したが、独居の方の体調不良やADL低下、冬場に降雪量が多く対応してほしいというニーズに応えたものだった。次年度もこのようなニーズに対応出来るようにしていきたい。

⑩介護・ケアマネジメント・機能訓練 統括主任 池田哲人

業務の見直しを行うにあたり、各委員会から現状の課題抽出や改善提案などを積極的に行ってもらい、形にすることができました。それを実践しながら不具合がないか、利用者の生活に支障はないかなど確認しながら微調整をおこないました。利用者本位の視点でアセスメント、計画作成、実施することを心がけ、機能訓練・口腔ケア等も一体的に実践することができました。

⑪看護 看護師長 菊池真夕子

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したが、感染症への警戒は年間を通して必要になった。風邪症状の有無の確認をすることで、面会を出来るように整えた。看取り前の状態確認のため、家族との面会の機会を減らさないように連絡調整することで、家族の心構えをつくれるように大切に関わった。施設での看取り件数は11名であった。経験を踏まえた超高齢者における老衰過程のパターンを家族への説明に応用することで、主治医との連携を強化することができた。また、利用者の希望に沿った終末期を迎えられるよう、家族と話し合い、のぞみの看取りが実現できた例も多数あった。

⑫給食 管理栄養士 舛舘まゆみ

食事は、安全でおいしい、楽しみなどなるものを提供できるように努めてきました。「選択食」を長い間実施してきましたが、選ぶことができなくなっている利用者が多くなったので終了しました。麺類が好きな利用者の声を聴き「麺の日」を作り提供しました。また、経管栄養による流動食での栄養補給をしている利用者の「口から食べたい」という気持ちを伝えていただき、看護職員先導にて、ミキサー食でしたが、食べていただきました。様々な食事の提供方法があります。その時々にも他職種とも相談しながら、利用者に喜んでいただける食事を提供していきたいと思います。

食中毒を起こさないように食品衛生については、新任職員にはオリエンテーションの時に組み込むようにしました。しかし、調理員との内部研修にて行っていた調理作業の見直し等が今年度はできていなかったことを反省点とし、安全な食事の為、食中毒対策となるように努めていきたい。

(イ) 短期入所生活介護

総評 統括主任 池田哲人

昨年度は感染状況の影響を受けキャンセルや利用を控える動きもありましたが、今年度はその状況を脱した印象がありました。特養の空床を利用したのショートも4件対応することができました。特に独居の方の体調不良やADL低下に

より、自宅での生活困難や2月積雪量が多いため利用希望など、柔軟に対応できたと思います。

イ. 利用者状況

(ア) 介護老人福祉施設 (令和6年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	13	38	51
平均介護度	4.4	4.4	
平均年齢	85.4	89.9	89.0

(令和5年4月～令和6年3月)

	男	女	計
入所数	2	9	11
退所数	2	10	12
稼働率	97.0%		

(イ) 短期入所生活介護 (令和5年4月～令和6年3月)

	男	女	計
介護度1	1	10	11
介護度2	4	8	12
介護度3	1	10	11
介護度4	4	8	12
介護度5	0	1	1
稼働率	97.9%		

(2) デイサービスセンターサンポエム

ア. 総評 副所長兼生活相談員 安村秀一

感染症流行での利用者の利用控えや心身機能の低下を予防するため、基本的なサービス提供に力を入れる事を目標にしました。第1・第2四半期の利用実績は順調で、利用者も活気ある生活に向けて、安定して利用することができていました。第3四半期に入ると住宅系サービスの感染症対策により利用者数の減少が目立ち始め、第4四半期には住宅系サービスに加え在宅の利用者の感染症の拡大があり利用を休まざる得ない状況となり利用回数、平均利用数共に減少しました。

サービス提供については、基本に立ち返り、入浴・個別機能訓練・余暇活動の充実を図ることを目標としましたが、余暇活動などは既存のメニューに利用者の方も楽しんで行っており、必要以上に新しい物を取り入れることより、様々な状況に負荷をかけることなく行っていくことも必要と感じました。

利用者の状況としては、加齢による身体状況の変化が多く見られ、区分変更申請が増加し、その後に施設等のサービスに移行する方も多く見られていました。

イ. 利用者状況

利用回数 (令和5年4月～令和6年3月)

	支1	支2	介1	介2	介3	介4	介5	計
R5.4	39	74	397	303	150	50	39	1,052
R5.5	34	85	417	310	158	45	41	1,090
R5.6	34	76	406	314	153	37	34	1,054
R5.7	34	80	426	327	146	52	37	1,102
R5.8	32	83	383	311	127	38	29	1,003
R5.9	35	81	358	307	115	43	38	977
R5.10	36	80	375	320	129	51	39	1,030
R5.11	38	65	341	315	121	48	37	965
R5.12	36	62	354	314	112	50	40	972
R6.1	34	54	332	312	85	43	20	880
R6.2	39	63	303	253	83	76	21	838
R6.3	32	71	324	298	101	105	19	950
平均利用件数						32.53		

(3) 彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所

ア. 総評 所長 作田由美子

多様な主体等が提供される生活支援のサービスが包括的に提供されるような居宅サービス計画の作成を意識して取り組みました。ご本人の真意がくみ取れるよう努め、事業所独自の「社会資源 BOOK」を更新、活用し、ご本人やご家族等が地域とつながりながら在宅生活が継続できるような支援を目指すことができました。しかし、その一方で末期がんや重度の新規利用者が増加しており、状態の変化が速く迅速な対応が求められました。

イ. 利用者状況

利用人数 (令和5年4月～令和6年3月)

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
R5.4	63	43	26	18	10	160
R5.5	62	44	27	19	12	164
R5.6	61	43	28	22	12	166
R5.7	64	48	29	20	12	173
R5.8	65	46	28	21	13	173
R5.9	62	53	24	21	15	175
R5.10	63	55	23	22	17	180
R5.11	59	57	22	24	18	180
R5.12	60	52	20	24	18	174
R6.1	56	43	16	23	14	152

R6.2	53	38	15	28	13	147
R6.3	52	39	16	26	13	146

(4) 彩香園アルテリーベ 訪問看護ステーション

ア. 総評 看護師長 菊池真夕子

外部訪問の看取り件数は4件と少なく、在宅で一定期間過ごされたあと、入院し病院で亡くなる方が多かった。緊急訪問が続く事例に関して、地域ケア会議を開催していただき、専門家の目線からのアドバイスをいただいた。

事業転換に伴い、訪問看護部門が休止するため、1月から他事業所と連携をとり、引継ぎをし、既存の利用者に必要なサービスが継続して受けられるように調整した。

イ. 利用者状況 (令和5年4月～令和6年3月)

	介護	医療	計
令和5年4月	37	10	47
令和5年5月	38	10	48
令和5年6月	37	9	46
令和5年7月	36	9	45
令和5年8月	35	8	43
令和5年9月	35	10	45
令和5年10月	39	7	46
令和5年11月	41	7	48
令和5年12月	39	8	47
令和6年1月	37	6	43
令和6年2月	31	5	36
令和6年3月	29	5	34

(5) グループホーム 青い空

ア. 総評 所長 和田吉彦

地域の感染症の動向に配慮しながら、季節の行事や面会・外出を行い居心地の良い生活空間作りを行った。

一人ひとりの気持ちを大切に、茶わん拭きやおかずの盛り付けなどの家事活動を通じて入居者一人一人が主体性を持って生活できる様に工夫を行った。

医療職との情報交換を密に行った結果、入院者は1名であり退院後も継続して体調に不安なく生活することができた。

運営推進会議を再びリアル開催する事ができた。認知症サポーター講座への講師派遣や消防団活動の参加、利用者の自宅ドライブ等を行い地域への活動に参加した。

職員一人一人の目標達成計画を作成し目標達成に向けた研修を実施できた。

イ. 利用者状況

(令和6年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	2	16	18
平均介護度	3.5	2.8	3.15
平均年齢	85.5	91.1	88.3

(令和5年4月～令和6年3月)

	男	女	計
入所数	0	4	4
退所数	1	3	4
稼働率	98.4%		

(6) 彩香園アルテリーベ ヘルパーステーション

ア. 総評 副主任訪問介護員兼サービス提供責任者 和田真

利用者の介護度重度化に伴い、新たな支援の提案と他事業所と連携してのサービス調整を必要に応じて随時行うことで、個々の状態に合ったサービスを提供していくことができました。

感染症発生時には職員の離脱や利用者の感染増加があり、代替訪問等の訪問調整が一部困難になることがあったため、平時からの感染予防や体調管理、職員減少時の訪問実施計画等を事前に細かく検討する必要があると感じました。

イ. 利用者状況 (訪問回数)

	介護	障害	計
令和5年4月	996	259	1,255
令和5年5月	1,118	259	1,377
令和5年6月	1,022	268	1,290
令和5年7月	948	260	1,208
令和5年8月	876	259	1,135
令和5年9月	957	262	1,219
令和5年10月	993	259	1,252
令和5年11月	1,020	260	1,272
令和5年12月	983	254	1,237
令和6年1月	985	251	1,236
令和6年2月	1,021	251	1,272
令和6年3月	1,003	253	1,256

(7) コレクティブハウス 彩香園アルテリーベ

ア. 総評 副主任介護員 和田真

今年度は7月から9月にかけて利用者の退所が続き、新規利用者の受け入れが

間に合わず空室期間が長期化してしまったため、各居宅支援事業所との情報共有と待機者の定期的な調査を細かく行うことが必要だったと感じました。今年度目標に接遇の向上を設定し、職場内研修の実施や会議での定期的な対応の見直しを行い、また気付きを促す声掛けを業務中に行ったことで年度初めに比べ利用者対応に一定の変化が見られました。満足度の高い対応を行うにはまだ改善点が多くあると思われるので、職員全体で継続して取り組んでいこうと考えています。

イ. 利用者状況

介護 (令和6年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	4	11	15
平均介護度	4.75	3.54	3.86
平均年齢	73.0	88.9	84.6

障害 (令和6年3月31日現在)

	男	女	計
在籍者数	1	1	2
平均年齢	41.0	36.0	38.5

(令和5年4月～令和6年3月)

	男	女	計
入所数	4	4	8
退所数	3	7	10
稼働率	97.6%		

IX. 活動報告

1. 行動（行事）報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

月	八太郎山療護園	希望ヶ丘	八太郎山の家
4	お花見	お花見会（外出）	お花見
5	買い物外出 おやつ作り	端午の節句	外食
6	買い物外出 テイクアウト	運動会	外食
7	おやつ作り	七夕	テイクアウト
8	おやつ作り	夏のお楽しみ会	八戸三社大祭
9	八太郎山祭		
10	ハロウィンイベント 買い物外出	ハロウィン祭り	紅葉ドライブ
11	おやつ作り お寿司の日	秋のお楽しみ会（外出）	外食
12	クリスマスイベント	クリスマス会	クリスマス会、餅つき会
1	新年会	新年会	新年会
2	おやつ作り	節分	節分、バレンタイン
3		ひなまつり	ひなまつり
他		誕生会(誕生日に近い日)	

月	根城の家 リアンジュ	グループホーム 桔梗野の家	
4	お花見	花見ドライブ 誕生会	
5	手作りおやつ	りそう郷見学	
6	ランチ会 外出ドライブ	さくらんぼ狩り	
7	手作りおやつ	流しそうめん（七夕）	
8	納涼ドライブ 三社大祭見学	桔梗野地区祭り 納涼祭	
9	ランチ会	ぶどう狩り 桔梗野敬老会	
10	ハロウィン 紅葉ドライブ	運動会 ハロウィン祭り	
11	紅葉ドライブ	外食会 紅葉ドライブ	
12	クリスマス会	クリスマス忘年会（地 域・ご家族との交流）ク リスマス会、誕生会、餅 つき	
1	ランチ会	初詣 新年会	
2	節分・えんぶり見学	節分 えんぶり観賞	
3	ひな人形展見学	ひな祭り会（スイーツバ イキング）	
他		オンブズマン来所 誕生会：随時開催	

(2) 上北地域福祉事業部門

	特別養護老人ホーム 彩香園アルテリーベ	特別養護老人ホーム 彩香園アルテリーベ ショートステイ	彩香園アルテリーベ 居宅介護支援事業所 在宅介護支援センター
4	お花見ドライブ	お花見ドライブ	
5	お茶の会	お茶の会	東北町委託事業 体力づ くり教室
6	たい焼きの日	たい焼きの日	東北町委託事業 認知症 予防教室
7	おやつバイキング	おやつバイキング	東北町委託事業 認知症 予防教室
8	夏祭り 物故者ご供養	夏まつり 物故者ご供養	東北町委託事業 体力づ くり教室
9	敬老会	敬老会	東北町委託事業 体力づ くり教室
10	紙飛行機とぼし大会	紙飛行機とぼし大会	東北町委託事業 家族介 護者教室
11	外食会	外食会	東北町委託事業 家族介 護者交流事業
12	クリスマス会	クリスマス会	東北町委託事業 認知症 予防教室
1	新年会	新年会	
2	豆まき会	豆まき会	東北町委託事業 体力づ くり教室
3	物故者ご供養	物故者ご供養	東北町委託事業 体力づ くり教室
他	誕生会（毎月）	誕生会（毎月）	

	デイサービスセンター サンポエム	グループホーム 青い空	コレクティブハウス
4	お花見ドライブ	お花見ドライブ おやつ作り	お花見ドライブ
5		お花見ドライブ おやつ作り	お弁当会
6		家族交流会	ドライブ外出
7		買い物ドライブ おやつ作り	ドライブ外出
8		買い物ドライブ おやつ作り	
9	敬老会	敬老会（ホーム） 紅葉ドライブ	敬老会
10	スポーツ週間 紅葉ドライブ	紅葉ドライブ おやつ作り	紅葉ドライブ
11		買い物ドライブ おやつ作り	手作り会
12		忘年会	忘年会
1	手作りおやつ	初詣 ドライブ	初詣
2	節分	節分	
3	手作りおやつ	ひな祭り	
他	誕生日会：毎月開催	誕生会：都度開催	

2. 設備修繕報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

- ・植栽剪定

八太郎山療護園、八太郎山の家

- ・リフト車購入（車椅子4基タイプ）

デイサービス根城の家

(2) 上北地域福祉事業部門

- ・植栽剪定

特別養護老人ホーム彩香園アルテリーベ、デイサービスセンターサンポエム

- ・空調設備入替

通所、コレクティブハウス

3. 研修報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

ア. 内部研修

予定	内容	実施事業所
4	倫理及び法令遵守 秘密保持義務	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
5	接遇マナー・コミュニケーション	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
6	食中毒 感染症対策	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
7	リスクマネジメントの考え方	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
8	虐待防止の理解・身体拘束の解除	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
9	医療的ケア研修・吸引	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
	食中毒予防、備蓄食品調理シミュレーション	療護園
10	非常災害時の対応	療護園・希望ヶ丘
11	緊急時の対応と救命救急	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
12	ハラスメント	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
1	腰痛予防	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
2	看取りケア	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ
3	認知症利用者の対応について	療護園・希望ヶ丘・根城の家・リアンジュ

イ. 外部研修

日程	研修内容
6	社会福祉法人運営の基本対策セミナー 令和5年度社会福祉施設職員経理研修 令和5年度青森県医療的ケア児等支援者養成研修 令和5年度青森県喀痰吸引等研修
7	第45回 全国身体障害者施設協議会研究大会 令和5年度相談支援従事者現任研修

	安全衛生推進者養成講習会
8	チームビルディング研修スタンダード 令和5年度法人運営セミナー（インボイス制度） 青森労災病院地域連携セミナー
9	学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会（基礎編） 令和5年度短期専門講習「緊急時の介護」 令和5年度社会福祉施設看護職員研修 安全運転管理者講習 社会福祉施設における安全衛生及び労務管理に関する説明会 第45回東北ブロック身体障害者施設職員研修会 カスタマーハラスメント対策 青森県JOBST 弾性ストッキング WEB セミナー
10	令和5年度東北ブロック身体障害者施設協議会第1回施設長会議 令和5年度高年齢者雇用推進セミナー 在宅看護における褥瘡対策 web セミナー
11	令和5年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員コース 〃 チームリーダーコース 甲種（新規）防火管理講習 地域でできる在宅医療と看取り研修 令和5年度青森県作業療法士会公開講座 第42回青森県身体障害者施設職員研修会
12	中堅職員のためのスキルアップ研修
2	令和5年度青森県介護予防支援従事者研修会 高齢者虐待防止の現状と課題

(2) 上北地域福祉事業部門

ア. 内部研修

予定	内容	実施事業所
4	新任職員研修 接遇・マナーについて 倫理・法令順守・接遇・プライバシー保護・ 高齢者虐待防止 緊急時の対応・確認 緊急時の対応について(酸素ボンベの使い方等) 緊急時の対応について 認知用及び認知用ケアについて	全事業所 特養 通所 訪看 ヘルパー GH

5	<p>2年目職員研修（記録について）</p> <p>事故防止・高齢者虐待防止、身体拘束廃止について</p> <p>倫理と法令順守</p> <p>OJT研修</p> <p>交通安全指導</p> <p>身体拘束排除・虐待防止について</p> <p>BCP研修</p>	<p>全事業所</p> <p>特養</p> <p>居宅</p> <p>通所</p> <p>ヘルパー</p> <p>GH</p>
6	<p>内部研修担当者研修</p> <p>感染症・食中毒について（BCP）</p> <p>食中毒</p> <p>個別機能訓練（機能維持・向上に向けて）</p> <p>認知症及び認知症ケア</p> <p>倫理及び法令順守</p> <p>食中毒・感染症・倫理・法令遵守について</p>	<p>全事業所</p> <p>特養</p> <p>居宅</p> <p>通所</p> <p>訪看</p> <p>ヘルパー</p> <p>GH</p>
7	<p>新任職員フォローアップ研修</p> <p>認知症について</p> <p>緊急時・事故発生時の対応</p> <p>心のケア、ハラスメント対策について</p> <p>食中毒予防</p> <p>身体拘束排除・虐待防止について</p>	<p>全事業所</p> <p>特養</p> <p>居宅</p> <p>通所</p> <p>ヘルパー</p> <p>GH</p>
8	<p>倫理・法令遵守・プライバシー保護について</p> <p>BCP事業継続計画・非常災害時の対応・緊急時の救急対応について</p> <p>倫理及び法令遵守</p> <p>介護施設の業務継続計画に係る研修</p> <p>事故発生又は再発防止に関する研修</p> <p>身体拘束排除に関する研修</p>	<p>特養</p> <p>通所</p> <p>訪看</p> <p>ヘルパー</p> <p>GH</p>
9	<p>合同内部研修（ACPとAEDの使い方）</p> <p>個人情報保護とプライバシー</p> <p>身体拘束排除・虐待防止について</p>	<p>全事業所</p> <p>居宅</p> <p>GH</p>
10	<p>リーダー級職員研修（コンフリクトマネジメント）</p> <p>非常災害時の対応（BCP）</p> <p>感染症・食中毒について</p> <p>感染症（ノロウイルス・インフルエンザ）について</p> <p>認知症及び認知症ケアに関する研修</p>	<p>全事業所</p> <p>特養</p> <p>通所</p> <p>訪看</p> <p>ヘルパー</p>

	接遇に関する研修	G H
11	感染症について (BCP) 送迎業務・安全運転・非常時緊急対応について 感染症予防 身体拘束排除・虐待防止について	特養 通所 ヘルパー G H
12	看取りケアについて 権利擁護・認知症ケア・コミュニケーションについて (意志決定支援への取り組み) 事故発生時又は再発防止 グループホームの看取りについて考える研修	特養 通所 訪看 G H
1	新任職員フォローアップ研修 事故防止・身体拘束廃止、高齢者虐待防止について 虐待 腰痛予防・福祉用具・ノーリフティングについて 身体拘束排除・虐待防止について	全事業所 特養 居宅 通所 G H
2	褥創予防の為の適切な体位変換と良肢位の調整 認知症 事故防止・リスクマネジメント・身体拘束排除について※感染症予防の為書類配布 プライバシー保護の取り組み 介護現場の事故を防ぐリスクマネジメント 介護従事者の接遇に関する理解 安全運転講習 プライバシー保護の取り組みに関する研修	特養 居宅 通所 訪看 ヘルパー G H
3	OJT 担当者研修 記録について 苦情処理 高齢者の自立支援について (状態別ケア・介護技術・口腔ケア) 身体拘束排除・虐待防止について	全事業所 特養 居宅 通所 G H

イ. 外部研修

日程	研修内容
4	安全衛生推進者養成講習会 東北町介護支援専門員連絡会
5	青森県認知症介護基礎研修 青森県介護支援専門員更新研修 東北町地域ケア会議
6	青森県喀痰吸引等研修（第一号、第二号研修） 青森県主任介護支援専門員更新研修 東北町地域密着型連絡会介護支援専門員等合同研修会 介護食セミナー 東北町地域ケア会議
7	第3回青森県認知症介護実践研修（実践者研修） 安全運転管理者等講習 日本認知症グループホーム協会青森県支部ステップアップ研修 東北町地域ケア会議 東北町介護支援専門員連絡会
8	青森県介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅰ）
9	第5回青森県認知症介護実践研修（実践者研修） 青森県介護支援専門員更新研修（専門課程Ⅱ） 東北町地域ケア会議 東北町介護支援専門員等研修会 対人援助職に効く心の免疫力を高めるワークショップ グループホームの实地指導及び介護サービス情報公表制度対策研修
10	階層別研修 管理者・リーダーのためのステップアップ研修 東北町介護支援専門員連絡会 東北町地域ケア会議
11	
12	階層別研修 中堅職員のためのスキルアップ研修コース1 階層別研修 中堅職員のためのスキルアップ研修コース2 介護施設・事業所におけるハラスメント対策セミナー 東北町医療介護関係者研修会および地域ケア会議
1	第1回在宅医療・介護連携に関する研修会および東北町地域ケア会議 東北町医療・看護関係者研修会 令和5年度アドバイザー派遣事業 課題整理総括表の活用方法に関する研修 東北町介護支援専門員連絡会
2	東北町地域ケア会議 令和5年度青森県介護予防支援従事研修

	令和 5 年度青森県介護支援専門員基礎資格別スキルアップ研修
3	適切なケアマネジメント手法の手引き その2 解説セミナー 東北町地域密着型サービス事業者集団指導

X. その他の取組み報告

1. 苦情等報告

(1) 八戸地域福祉事業部門

ア. 苦情件数 : 0件

イ. 相談件数 : 1件

ウ. ご意見

(2) 上北地域福祉事業部門

ア. 苦情件数 : 1件

イ. 相談件数 : 0件

ウ. ご意見

2. 地域貢献・地域交流

(1) 八戸地域福祉事業部門

・市川地区子育てメイト応援サロン参加

・地区開催悠々サロン参加

・しあわせネットワーク（青森県社協）

(2) 上北地域福祉事業部門

・認知症サポーター養成講座講師派遣（東北小学校、上北小学校、甲地小学校）

・認知症サポーターフォローアップ研修、徘徊搜索訓練講師派遣（上北中学校）

XI. 健康管理報告

1. 職員福利厚生

(1) 健康診断

療護園入居者健康診断 令和5年6月、11月

特養入居者健康診断 令和5年6月

特養・GH・CH入居者 結核検診 令和5年6月

八戸地域職員健康診断 令和5年9月

上北地域職員健康診断 令和5年6月

八戸地域夜勤従事者健康診断 令和6年3月

上北地域夜勤従事者健康診断 令和5年12月

(2) 予防接種

療護園・山の家・GH入居者 インフルエンザワクチン予防接種 令和5年11月

特養・GH・CH入居者 インフルエンザワクチン予防接種 令和5年11月

八戸地域職員インフルエンザワクチン予防接種 令和5年11月

上北地域職員インフルエンザワクチン予防接種 令和5年11月

療護園・山の家・GH入居者 コロナワクチン予防接種 国・県の指針により実施

特養・GH・CH入居者 コロナワクチン予防接種 国・県の指針により実施